

# 鋭農経営塾

厚生労働省「教育訓練プログラム開発事業」実証授業

## 開講式

一、 鋭農経営塾塾長 式辞

二、 開講式特別セッション

トークテーマ：“理想の農家像・経営者像” “10年後を考える”

三、 受講者挨拶・目標共有

四、 事務局連絡

五、 閉会

## オンライン接続について

- スマートフォンではなく、**パソコン**よりZoomにアクセス、「**ビデオの開始**」で皆さんの顔が見える状態でご参加ください。
- ご自身が話されるとき以外は、「**ミュート**」に設定ください。
- スマートフォンなどはマナーモードにさせていただき、雑音が入らないようご協力お願い致します。
- 接続に不具合があって解消できない場合、事務局にお電話ください。
- もし接続が一度切れてしまっても、再度リンク（以下再掲）にアクセス頂ければ戻れます。万一、事務局側の接続が切れてしまった場合は、5分後までに再開致しますので、5分後、再度リンクにアクセスください。

## 受講者挨拶・目標共有について

- お一人5分間で、自己紹介を兼ねたご挨拶と、目標設定シートの重点事項の発表をお願い致します。（目標設定シートの全てではなく、特に重要な1-2点のみに絞って共有お願い致します。）



## ファームサイド株式会社 佐川友彦氏

代表取締役、経営コンサルタント

東京大学農学部/農学生命科学研究科修士卒。外資系化学メーカー(デュポン株式会社)にて主に太陽光発電パネル素材の研究開発に従事。

2014 年より栃木県宇都宮市にある阿部梨園に参画。代表阿部の右腕、農園のマネージャーを務めた。農家が苦手とする経営管理、企画、経理会計、人事労務などのオフィス業務だけでなく、ブランディングやPR、接客販売など営業面も担った。3 年間で大小 500 件の業務改善を実施し、小規模ながらスマート経営と、直売率 99%超を達成した。

2017 年に阿部梨園の改善事例 300 件を公開するクラウドファンディングを実施し、330 人から 450 万円の支援を集めて話題を呼んだ。その成果はオンラインメディア『阿部梨園の知恵袋|農家の小さい改善事例 300』として無料公開されている。

現在は全国各地で講演等を行い農家の経営体質改善と実務ノウハウのオープン化を推進している。2019 年 1 月より個人事業である FARMSIDE works を起業、経営コンサルティングや企業のアドバイザリー、講演活動などを行っている。2020 年 1 月に FARMSIDE works を法人化し、ファームサイド株式会社を設立。代表取締役に就任。

### キーワード：

#経営改善

#農家の参謀

#製造業出身

#現場経験豊富

#バックオフィス

#組織開発

#ブランディング

## 株式会社舞台ファーム 伊藤啓一氏 常務取締役



【出身】 宮城県仙台市出身 43歳

【経歴】 東北大学文学部心理学専攻 卒

2013年 7月～舞台ファームグループ入社

三井住友銀行系金融機関に勤務後、50年ぶりにプロ野球に新規参入した株式会社楽天野球団のチャーターメンバーとしてジョイン。初年度黒字に貢献したほか、営業企画・広報・チームフロント業務・各種事業で責任者としてプロ野球界初となる企画を様々立案。

2013年に舞台ファームグループに入社後は、舞台ファームグループの精米会社「舞台アグリイノベーション（株）」の購買マネージャーを兼務し日本最大級の精米工場の立ち上げに寄与。現在、舞台ファームグループの常務取締役として、広域型農業者連携の構築、福島の復興支援、日本最大級の大型水耕プラントの建設など、日本農業の課題解決のため様々な取り組みを行なっている。



## 岡部 達也氏

**大手自動車メーカーグループ マーケティング会社所属  
エグゼクティブプランニングディレクター**

自動車業界にて30年以上の経験を持つ。現場の自動車販売から、メーカーの商品企画、営業企画まで幅広い経験を持つ。2000年からは、自動車販売におけるEビジネス開発、2005年からは、ファイナンス商品による拡販策の実践など、旧態依然とした業界の中で常に新しい事業を模索。

自分のミッションを、「自動車メーカーと自動車販売店の待遇の差をなくす」ことに置き、2010年からは自動車販売店向けの研修企画から実践、現場販売カイゼンに従事。特に研修事業については、各販売店の課題に寄り添い、カスタマイズ化した長期/反復型研修で浸透を前提としたプログラムを実行している。

その他、飲食業の現場カイゼン、インナーブランド開発のサポートも実施。鋭農経営塾では、農業業界外の視点から、受講される皆様へのお役立ちを目指します。

グロービス経営大学院 MBA

産業カウンセラー（日本産業カウンセラー協会）

Eコマースコンサルタント（ジャパンEコマースコンサルタント協会）

現場で働くスタッフの幸せを支援することに、生き甲斐を感じるYoung at heartシニア。





## 株式会社マイファーム 石原北斗

執行役員

アグリイノベーション大学校学長

2007年東京農業大学大学院農学研究科修士課程修了。ケニア農村部における環境保全型害虫管理技術の技術開発・普及に関する研究に関わる。農産物専門商社を経て、2012年マイファーム入社、アグリイノベーション大学校の立ち上げに関わり、農学講義および農場実習講義の講師として新規就農者の育成に取り組む。

現在は、原料生薬栽培や産地支援、中国/東南アジアにおける農業生産事業、ソーラーシェアリングなど、生産や営農支援、技術開発に関わるプロジェクトを統括している。



# 受講者挨拶・目標共有

20名のメンバーの方に発表をお願いします。

## 厚生労働省「教育訓練プログラム開発事業」について

- 鋭農経営塾は、上記事業の一環として実施します。
- 「教育訓練プログラム開発事業」とは：  
リカレント教育を推進する厚生労働省の事業で、「農業」分野を株式会社マイファームが受託し、実施するものです。

### 委託事業の目的：

労働者の様々なニーズに対応した教育訓練プログラムが十分に供給されているとは言えないことから、それらの開発を促進するため、AI、センサー、ロボット、IoTを活用したものづくり、経営管理、農業技術、看護、保育等の分野について、新規かつ実践的で雇用対策として効果的で必要性の高い教育訓練プログラムの開発・実証を、専門的な知見等を有する者（学会、業界団体、大学、民間事業者等）に委託し、開発した教育訓練プログラムの継続的な活用を図ることを目的とする。

- 本事業で開発した教材（教育訓練プログラム）の実証を鋭農経営塾にて行いますので、受講メンバーの皆さまには教材・講義の評価や建設的なフィードバックなどご協力頂けます様宜しくお願い致します。

# 【事務局連絡】 今後の講義の流れ

## 講義前日～当日～講義終了後

- 【Slack】[#1-お知らせ] にて、講義前日に、講義のZoom接続URLと、教材の受け渡し先URLをご案内します。
- 講義当日は、開始30分前からZoomにアクセス可能です。“講義前サロン”としてオープンしておきますので、ぜひ少し早めに入って気軽に交流ください。
- 講義終了後は、①講義アンケートおよび②講義のサマリー（要約）の提出が必要です。こちらを、出欠確認の情報、修了要件の一部とします。


|           | 提出方法  | 内容   |
|-----------|---|--|
| ① 講義アンケート | 事務局より、【Slack】[#2-講義後アンケート]にて回答WEBリンクを案内。<br>1週間以内にWEB上より回答送信。<br>（当日送信推奨） | 講義の満足度（分かりやすかったか、内容が充実していたか、実践に生かしてみようと思う内容だったか）<br>自分自身の理解度（講義の内容を理解できたか） |
| ② サマリー    | 【Slack】[#3-サマリー投稿]に講義の要点を200字程度にまとめたものを1週間以内に投稿。（当日投稿推奨）                  | 今回何を学んだか、また、学んだことのうち自身の経営（or所属する経営体で）何を実践するか実践すべき理論の要点・実践する際の留意点などをまとめる。   |

## 欠席される場合

- 講義前日までに、【Slack】[#5-出欠] へ欠席の旨ご一報ください。  
当日やむなく欠席になる場合も同様に上記Slackにご一報ください。  
(出席の場合は連絡不要です。)
- 欠席された方向けに、復習動画等は特段ご用意しておりません。その場で考えて頂くワーク等が多いため、リアルタイムでご参加頂くことを前提にしております。

# 【事務局連絡】受講方法のお願い 1

## Zoomの設定確認（自分の名前を正しく表示ください）

- Zoomへ参加したら、講義が始まる前に、画面下「参加者」をクリックし、右上に表示される自分の名前が、正しく表示されているかご確認ください。

【正しく表示されていない方】Zoomアカウントをお持ちの方は、「設定 ⚙️」から「プロフィール」-「マイプロフィールの編集」とお進みください。



アカウントをお持ちでない方は、画面右上に表示されている名前にカーソルを合わせると「詳細」が出ますのでそこから「名前の変更」が可能です。

ただ、こちらの場合、講義の度に名前変更が必要になってしまうので、アカウント（無料）を取得されることをお勧めします。

## 講義中の質問・つぶやき / 講義後の振り返りや疑問点について

### 【講義中の質問・つぶやき】

- 講師への質問は、適宜Zoomの「チャット」に書き込みください。講義の途中でまとめて講師に質問をレビュー頂きます。

送信先: 全員 ▼      ファイル      ...

★〜〜~とのことですが、〜〜~場合も同じ考え方で  
しょうか？

- 講義中のつぶやきや疑問点・自分の理解等も、積極的に「チャット」に載せてください。受講メンバー全員の理解促進につながります。
- 講義中に消化しきれなかった質問がある場合は、Slackの「ディスカッション」ルームで、【講師への質問】として投稿ください。（質問はできるだけ講義中にお願いします。）

### 【講義後の振り返りや疑問点】

- 講義の振り返りや疑問点について、受講メンバー同士で話したいときは、Slackの「ディスカッション」ルームをご利用ください。

## 講義中のリアクション等について

オンライン講義のため、講師は皆さんの理解度や、疑問を持っていそうかなどの雰囲気を感じ察することが難しい状況です。

講師の問いかけに対してのチャットでのレスポンスや、OK,NGのジェスチャー、ZOOM内「反応」ボタンの活用、うなずきなど、普段よりオーバーリアクション気味で受講頂けます様お願いします。

また、講義におけるグループワークでは、取りまとめ役やタイムキーパー、書記などを役割分担して実施頂きます。積極的な取り組みをお願いします。



## 本日の配布資料

- 各種情報取り扱い同意書（守秘義務同意）
- 講義日程スケジュール更新版
- 修了要件説明書